

滋賀：伊吹山

- ◆日程 2021年11月20日(土)
- ◆メンバー L: OT
- ◆天候 晴

11月になり、冠雪の知らせが聞こえるようになった。雪に対応していないマイカーでの単独遠征もそろそろ潮時になりつつある。西に目を向けると車で行けそうな名峰が二つある。伊吹山と恵那山だ。この週末なら天候も持ちそうということで2本立ての遠征を計画した。

未明に自宅を発ち、陽が昇った名神高速を走行中のこと。突然先行車数台が急停車、自分も後続車も何とかブレーキが間に合ったが、あと僅かでプレスサンドにされるところだった。眠気が吹っ飛んだところで伊吹山登山口に到着。人気の山ということもあり、駐車場はどこも民間で有料。近隣にスキー場がありロープウェイで3合目まで上がったそうだが、降雪量が減ったことと山頂直下までドライブウェイで上がれるようになったことから、廃業してしまったらしい。勿論自分は一番下から歩くつもりだったが、ここでも温暖化の影響を実感。

下から見上げる伊吹山の西斜面は緑が無く、地肌が剥き出しに見える。お陰で、標高差1200メートル程の山頂へ続くジグザグの登山道が良く見える。スタートが9時近かったこともあり、沢山の先行者がいる。初めは林の中を歩くが1合目で日光を浴び途端に暑くなる。汗はどんどん乾くので快適。例年はもう冠雪している頃だそう(本稿執筆の11月23日に初冠雪したとのこと)。樹木が少ないお陰で琵琶湖方面と関ヶ原方面が良く見渡せる。しかし、下界には霞が掛



かっており、琵琶湖の対岸は見えない(写真)。それでも晴れてくれただけ有難い。広々とした山頂は家族連れなど多くの人で賑わう。真ん中に日本武尊の像がある。丁度去年の同時期に登った上州武尊山にも日本武尊の像があったが、何れも東征の伝説に由来するそう。ここで昼食。風が吹き抜けて寒い。山頂付近の散策路を歩くとドライブウェイのパーキングに降り立った。山頂の売店は営業していないが、ここのレストハウスは幸運にも営業中。バッジを手に入れて再び山頂へ。紅葉した周囲の山は見渡せるが琵琶湖は相変わらず霞んでいる。あきらめて下山。駐車場では管理人さんが、遠方からの来訪をねぎらって庭の柿をくれた。

明日登る恵那山の登山口まで150キロ。着いた時には暗闇で、見上げると満天の星空。ここ阿智村は星が良く見えるのが売りらしい。先客は一台。誰も乗っていない様子。一人静かに車中泊を満喫した。

(記: OT)

CT: 自宅 = (車) = 登山口駐車場 8:50 - 三合目 9:40 - 伊吹山 11:20/11:50 - 伊吹山ドライブウェイ山頂駐車場 12:20 - 三合目 13:30 - 登山口駐車場 14:15
= (車) = 恵那山広河原登山口駐車場(泊)